
2 割付図

Q-14 フラットデッキの施工にあたって、割付図の役割について教えてください。

A

フラットデッキを施工する場合は必ず割付図が必要になります。

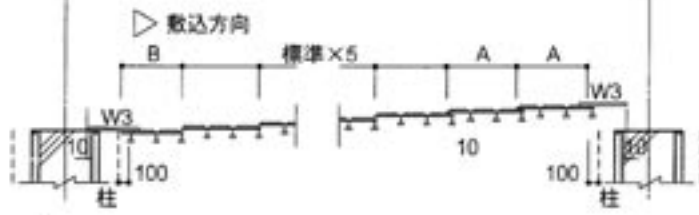
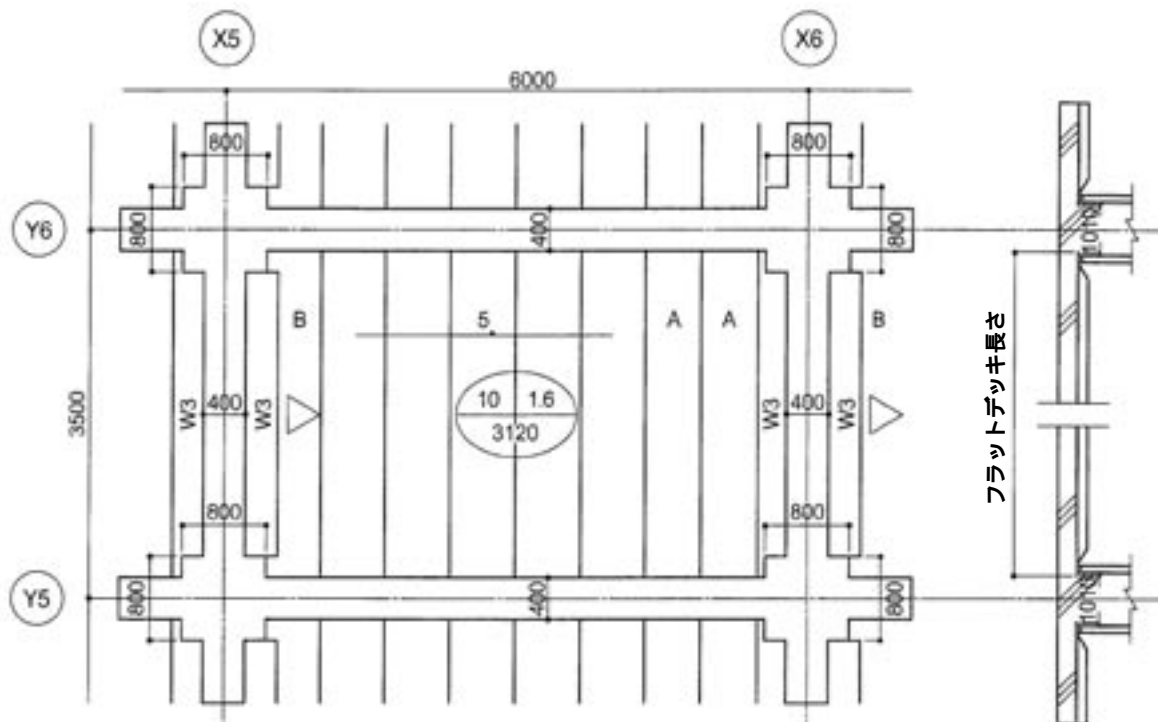
割付図は施工図として請負業者（建設業者あるいはゼネコン）との契約に基づき原則としてフラットデッキ施工者が作成するものです。さらに、後述のように割付図が施工図および材料手配図並びに発注契約書としての役割も担う場合があります。そのため請負業者（発注者）の承認を得ることが重要となります。

施工図としては、フラットデッキはその性格上支持梁間毎に敷設する単純支持状態での工事となり、安全性確保の点から施工図の作成は必須のことからです。フラットデッキが支持梁に所定の長さで敷設できる寸法、板厚を算出し、図面に表示することが必要条件となります。また、フラットデッキ幅方向の納まりに関してもメーカー各社は現場でフラットデッキを切断しないように役物と称する製品を用意しています。これらの製品も安全性を考慮して敷設するように使い分けて割付図に明示する必要があります。

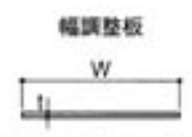
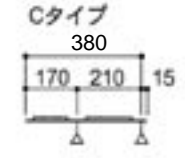
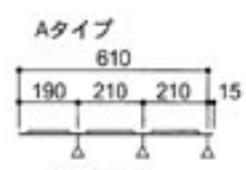
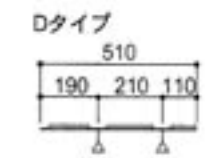
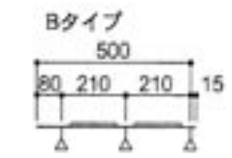
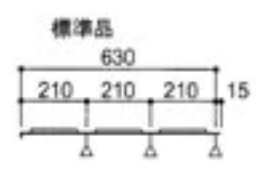
割付図を作図する上での方針および要領は、「フラット指針」5.1 施工計画に詳述してあります。

他方、割付図は材料手配図として躯体工事に併せてフラットデッキ敷込みの手順を計画し、納入日の指定をする等の施工計画に使用します。この時この割付図より材料手配表を作成し、メーカーに材料発注することになり、注文書としての役割を果たす書類となります。

以上のことより、割付図はフラットデッキの発注契約および工事施工図として重要な図面となります。次頁資料は具体的な割付図の表示例です。



敷込方向
 A-D フラットデッキ
 W1-W3 幅調整板



略号	W	t
W1	200	1.2
W2	300	1.2
W3	400	1.8